

家庭教育通信

「家庭教育通信」は子ども達のすこやかな成長を願い、よりよい家庭教育について皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

VOI.13

発行：白井市教育委員会 2007年9月
監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 裕子
お問い合わせ：白井市教育委員会 教育部 生涯学習課
TEL：047(492)1111

9月とはいえ暑い日が続いています。中学2年生のアキちゃんの家の朝です。

お母さんが台所のドアからアキちゃんの部屋に向かって「アキ！早く起きなさい！」と声をかけますが、起きてきません。ついに、部屋のドアを開けて、「早くして。何度言ったら起きるの。遅れるわよ。ほら、アキ。起きなさい。」と、早口で言いながらカーテンを開けます。

アキ「だって、頭痛いんだもん・・・」

母「風邪ひいたのかしら？遅くまでテレビなんか見ているからじゃないの。学校どうするの？」

アキ「休む・・・」その日、アキちゃんは病院には行かず一日寝ていました。次の日も休み、3日目の朝です。

母「いい加減にして！学校に行きなさい。もう十分休んだでしょ。勉強、分からなくなるわよ。」

アキ「うるさい！ほっといて！」



急に反抗的な言い方をして、布団にもぐりこんでしまったアキちゃんにお母さんは取り付く島もありません。今までは、部活の朝練にも元気に出かけていき、勉強もアキちゃんなりに頑張っていました。何があったのか心当たりもなく心配になりました。このまま学校に行かなくなってしまうのではないかと、不安も広がり、家事も手につかなくなりました。お母さんは、友人のかえでさんに電話をしました。かえでさんの長男の諒君は、4月頃から学校に行っていなかったのですが、最近は登校していると聞いていたからです。

かえでさんは、これまでの経過を話してくれました。

始めは、「だるい」「眠い」「うざい」と言い、そのうちカーテンを閉めて部屋からほとんど出てこなくなった。何とかして学校に行かせようとして、誉めたりおだてたり。勉強だけは家や塾でもできるからやろうと説得しても、ダメだった。

スクールカウンセラーの紹介で、子ども対象の心療内科に行ってみたら、ホルモンバランス異常が分かり、今は薬を飲み、学校にも行けるようになった。高い熱がでるわけでも、激しい痛みがあるわけでもないから、病気なんて考えても見なかったと。今思うと、長々と説教をしたり、命令やバカにすることを言ってしまって、諒には申し訳ないことをしたとも。

かえでさんの話を聞いて、お母さんは、一番辛いのはアキちゃんなのだから、話を聞いてみようと思いました。そして、心配している気持ちを伝えようと思いました。

母「アキ、体調はどう？」

アキ「別に・・・」

母「変わらないの。・・・お母さんは、勉強やテストのことが心配で、学校に行きなさいと言ってきたけれど、体調が悪いのかな。それならば、病院へ行って検査してみない？」

アキ「イヤダ」

母「嫌なのね」

アキ「だって、病気じゃないから・・・」

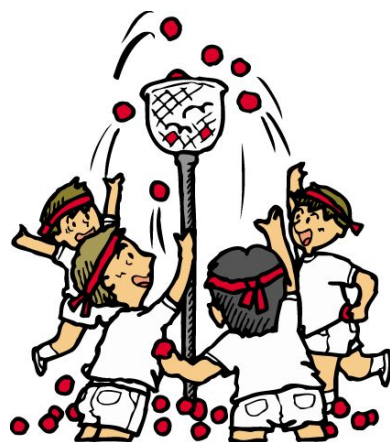
そう言っ、下を向いたままポタポタと涙をこぼしながらアキちゃんは話し始めました。大会を目指して夏休みに頑張ったこと。転校生が入部してきてあっさりレギュラーになり、補欠になってしまったこと。努力が無駄になったようで何もしたくなってしまうと。

翌朝、アキちゃんは何事も無かったかのように登校しました。

子どもが学校に行きたくないという時には、その子なりの理由があります。諒君のように病気だったりアキちゃんのように部活だったり。今回は事例にはありませんでしたが家庭内の不和という場合もあります。いずれも何かの理由で心のエネルギーが低下して、外へ出て行くパワーが出ないのです。アキちゃんは、彼女なりの辛さをお母さんにそのまま聞いてもらって、心のエネルギーである愛情を蓄えたのです。

二学期は昼中はまだまだ暑く行事も多いので、子どもは疲れがたまります。中学生は部活と勉強のバランスや人間関係と、子どもなりに負担はあります。ですから休みたくなることもあるでしょう。けれど、アキちゃんのように元気を取り戻して長期欠席にならないために、大人が素早く対応する必要があります。表情が暗い・休みたいなどいつもと様子が違う時に 数日の休養 子どもの話を否定しないで聞く 学校との連携、必要であれば、スクールカウンセラーの支援を受ける。

学校に行きたくない理由・きっかけが子どもによって違うよように、対応も違ってきます。けれど共通するのは、子どもの話を聞いて気持ちを理解するという愛情をかけることでしょう。



一緒に考えてみませんか？

家庭教育の悩みや不安について相談するには、

白井市教育センター室 ☎047-492-2301

千葉県子どもと親のサポートセンター ☎0120-415-446

千葉県総合教育センター特別支援教育部 ☎043-227-1166

(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)

養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉相談するには、

中央児童相談所 ☎043-253-4101

(子ども・家族110番)

白井市家庭児童相談室 ☎047-497-3477

(社福)千葉いのちの電話 ☎043-227-3900

(ひとりぼっちで悩まずに.....24時間・年中無休)

子どもの非行などを相談するには、

少年センター(千葉県警) ☎0120-783-497

県内の相談場所